

鍵かけ忘れの不安解消

電子錠で安全性向上

電子錠メーカーのセリユール(東京都中央区)は高齢者でも取り扱いやすいオートロック電子錠を開発・販売している。鍵のかけ忘れや鍵を失くす心配を無くし、安全性を向上させるものとして高齢者施設や高齢者宅での普及を目指す。

人でも簡単にドアを開けられる。

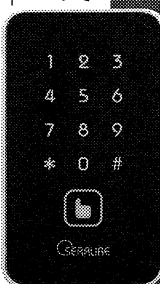
警察庁の「平成26、27年の犯罪情勢」によれば、住宅への侵入窃盗の認知件数は約5万1000件にのぼり、侵入の方法は無施錠のドアからの侵入が約45%と最も多い。鍵のかけ忘れを防止することが最低限の対策方法とされる。

セリユールが開発・販売するのは高齢者や小さな子供がいる家庭に支持されているオートロック電子錠。外出時は自動で施錠し、帰宅時は「スマートキー」を服のポケットや鞆の中に入れた状態で

ドアから80センチ圏内に近付き、4〜12桁の任意の暗証番号を入力することで解錠できる。ドアに近付くだけで解錠する設定もできるため、買い物後に両手がふさがっている場合や、身体が不自由な

高齢者は鍵のかけ忘れで不安を抱きやすいともされ、オートロックを活用することの利点は大きい。セリユール製品は電池で動作するので配線工事が不要。引き戸以外のドアで約1年間使用でき、電池の残量が3分の1

▶高齢者施設や高齢者宅でのオートロック電子錠の普及を目指す



を切るとメモディで電池交換を知らせる。取り付け費用、消費税込み7〜10万円で設置でき、近年は販売台数約2万台を記録した。韓国ではオートロック電子錠が9割まで普及しているとされ、日本においても医療機関や高齢者施設での導入も進み始めている。今後は高齢者施設のほか、高齢者や小さな子供が暮らし個人宅へのアプローチも強化し、さらには要望が多く出ている引き戸に対応したオートロック電子錠の開発にも力を入れていく。

家具メーカーの光製作所(東京都荒川区)は6月14日〜15日、光流通センター(東京都足立区)6階のショールームで新作発表展示会「HIKARI FURNITURE 2017」を開催した。光製作所が開発する高齢者向けの家具は介護事業所において

家具は介護事業所において



子の活用法提案 介護事業者等800人



▶新たな価格帯の椅子も発表した

ンを実現した椅子もラインナップに追加。これまでは価格面で導入を諦めていた介護事業者でも導入を検討できる価格帯を新たに用意した。その意図について第1営業部・三枝浩一郎部長は「製品の幅を広げ、より多くの医療・介護事業者に当社を知ってもらい、利用して

高齢者施設運営のトータルサポートを紹介する サロンブースへお越し下さい!!

れからの経営の差になる



miketa (100歳) が愉しみになる社会を創ります

ウィルス対策

災害対策

人材開発



- メディカルタイチ指導士初級講座
- スマート脳トレ活用セミナー